



つくる。つつむ。つなぐ。

東京佼成ウインドオーケストラ

スペインの吹奏楽

Tokyo Kosei Wind Orchestra

第168回 定期演奏会

#168
SUBSCRIPTION
CONCERT

[指揮]

飯森 範親

(首席客演指揮者)

limori Norichika,
Principal Guest Conductor

[演奏]

東京佼成 ウインド オーケストラ



©Atsushi Yokota



©山岸伸

- モンセラット / F.フェレルラン
Mont Serrat / Ferrer Ferran
- 交響曲第2番 / L.セラノー・アラルコン
Second Symphony for Wind Orchestra / Luis Serrano Alarcón
- リベルタドーレス / O.ナヴァットロ
Liberadores / Oscar Navarro
- エヌマ・エリシユ / J.スニャール・オリオラ
Enuma Elish / José Suñer-Oriola

4.13 SUN 2025

開演:14:00 (開場:13:15)

東京オペラシティ コンサートホール タケミツメモリアル

〒163-1403 東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 TEL:03-5353-0788

TICKET
(全席指定・税込)

S席: ¥6,500 A席: ¥5,000 B席: ¥4,000 C席: ¥3,000 U25: ¥2,500

25歳以下の方のための割引サービスです。
公演当日は年齢を証明できるものをご持参ください。
取り扱い: TKWO チケットサービス

東京佼成ウインドオーケストラ チケットサービス

WEBチケットサービス

いつでも予約可能!

※定期メンテナンス
毎日3:00-4:00

座席指定

クレジット決済

電子チケット

コンビニでの支払・発券



TEL

03-5341-1164

9:30-16:30
土・日・祝を除く

会員先行: 2025/1/7(火)
一般発売: 2025/1/14(火)

プレイガイド

- チケットぴあ
- ローソンチケット
- e+ (イープラス)
- 東京オペラシティチケットセンター
03-5353-9999 (月曜定休)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※出演者・曲目・時間等は変更になる場合がございます。
※お申し込み後の変更・キャンセルはお受けできません。
※公演中止の場合を除き、払い戻しはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

主催: 一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

東京佼成ウインドオーケストラ事務局 TEL 03-5341-1155

<https://www.tkwo.jp/>



情熱のスペイン、ラテンの輝き

中橋 愛生 (TKWO楽芸員)

情熱の国、スペイン。その吹奏楽もまた、狂おしいほどの豊穡さに溢れている。スペインの吹奏楽団は「交響吹奏楽団」と呼ばれるにふさわしく、時にチェロなどを含み200名近くの規模を持つ。その可能性を引き出すために作られた楽曲の数々は、壮大なスケールを持つと同時に、ラテンの血が叫ぶ強靭さを要求する。今回演奏される4曲の作曲者たちは、いずれも現在世界的に注目を集めているスペインの俊英。個々の作品が単独で紹介されることはあっても、一挙に並べて味わえる機会は稀有であろう。

フェルランは、TKWOも2018年の第138回定期演奏会で演奏した『交響曲第2番《キリストの受難》』が特に知られている作曲家。そこで見せたシリアスな顔とは一転して明るく楽しい、スペインの舞曲の要素がふんだんに盛り込まれた『モンセラット』がラテンの世界へ誘ってくれる。

近年、世界中で作品が演奏されるようになり、急速に日本でも注目を集めているアラルコン。その音楽的ルーツは古典派やロマン派の音楽にあるという。ピアニストとしても活躍してきたアラルコンが先達たちへのオマージュとして書き上げた全4楽章、演奏時間およそ30分の『交響曲第2番』からは、直接の引用こそ無いものの、巨匠の香りを漂わせるロマン派的情緒が溢れ出る。

今回最も若いナヴァッロは1981年生まれで、フェルランの下で学んだ作曲家。アメリカで映画音楽の作曲法を学んだナヴァッロが、シモン・ボリバルなどのラテン・アメリカ独立戦争の指導者たち『リベルタドーレス』を描いたその音楽は、ダイナミックかつドラマチック。ラテン打楽器から打ち出されるリズムに先導され、アマゾン川流域の歴史絵巻が鮮やかに描かれる。

最後を飾るスニャール=オリオラは、2006年にTKWOが実施した「第1回東京佼成ウインドオーケストラ作曲コンクール」で団員の支持を集めてフレデリック・フェネル特別賞を受賞した作曲家。それから約20年を経て、再びTKWOがスニャール=オリオラの作品を演奏する。『エスマ・エリシュ』は、卓越したオーケストレーションによりバビロニア創世記を幻想的な響きを生みつつ圧倒的スケールで描き出す。

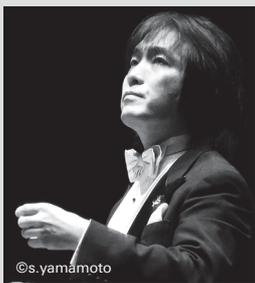
「スペインの作曲家」という大きな括りではあるが、通して聴くと当然ながらそこに明確に異なる4つの個性の輝きも見出せるだろう。だが、根底でつなぐはラテンの血。情熱的な音楽作りに定評のある首席客演指揮者・飯森がどのように燃え上がらせるか、楽しみだ。

(敬称略)

Profile

飯森 範親 (首席客演指揮者)

Iimori Norichika, Principal Guest Conductor



桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督 (GMD) に着任し、日本ツアーも成功に導いた。国内では94年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。14年より日本センチュリー交響楽団首席指揮者に就任、世界でも例の少ないハイドンの交響曲全曲演奏&録音という一大プロジェクトを手掛ける(25年3月退任)。また、オペラでも高い評価を得ており、24年は新国立劇場「コジ・ファン・トゥッテ」、藤原歌劇団「ピア・デ・トロメイ」に出演。現在、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いづみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。

オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

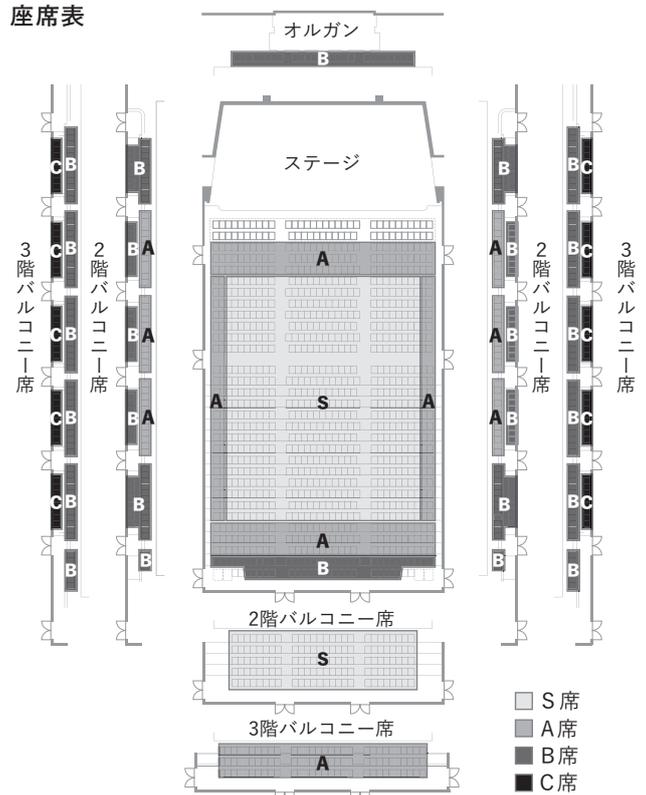
東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra



1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、正指揮者に大井剛史、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、首席客演指揮者に飯森範親、ポップス・ディレクターに藤野浩一を擁している。2024年4月より大井剛史が常任指揮者に就任予定。吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し高い音楽芸術性を創出し、多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

■ 座席表



東京オペラシティ コンサートホール: タケミツメモリアル

〒163-1403 東京都新宿区西新宿3-20-2 TEL:03-5353-0788

●京王新線 初台駅東口下車 徒歩5分以内

TKWO 吹奏楽カフェ

第5回

2025年
3月17日 [月] 19:15 開店

管楽器専門店ダク「スペースDo」

(最寄駅「新大久保」駅)

料金 2,500円 (税込)

詳細は後日オフィシャルサイトにてお知らせいたします。

■ 共催: 管楽器専門店ダク